

# ヤマコン コンクリート圧送業界で初の取得 DBJの融資制度・BCM格付

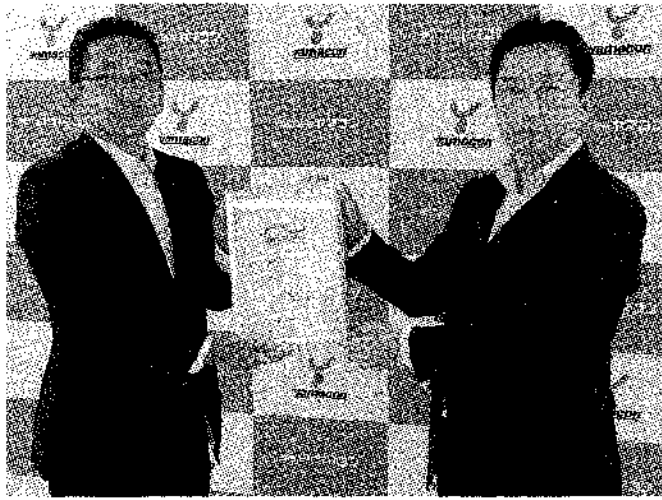
コンクリート圧送業のヤマコン（山形市 佐藤隆彦代表取締役社長）は、日本政策投資銀行（DBJ）の格付融資制度「DBJ・BCM格付」で、

防災および事業継続への取り組みが十分とする格付をコンクリート圧送業界で初めて取得した。27日には同社で格付認定証の授与式が行われた。

BCM格付は、DBJが開発した独自の評価システムにより、防災および事業継続への取り組みが優れた企業を評価・選定し、その評価に応じて融資条件を設定するという融資メニューのこと。

同社が格付取得したのは、自然災害リスクの低減に向けて耐震化工事や事務所機能の移転を行うなどハード面から従

佐藤社長（右）と松岡支店長（左）



業員の生命安全を確保する防災対策を実施していることや、行政主催の合同防災訓練に継続的に参加していることなどが高く評価されたため。このほか、調達先の複数化や優先供給協定の締結を通じてサプライチェーン上のリスク低減に努めている点なども優れているとされた。

6月30日付で格付けを取得し、同日にDBJから融資を受けた。融資の用途は、国内最大級コンクリートポンプ車の導入費用に充てる。融資額は非公表。

授与式では、DBJの松岡基嗣東北支店長が佐藤社長に認定書を手渡した。佐藤社長は「東日本大震災を契機に、災害に強い会社づくりを目指してきた。今回の取得に甘んじず、よりブラッシュアップを図りながら格付にふさわしい企業であり続けていく所存だ」と意気込みを語った。